学校番号	４１５

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「現代文Ａ」（東京書籍株式会社）						
副教材等	基礎からの漢字学習　標準編　三訂版（実教出版株式会社） リトルバード現代文　標準編（桐原書店） プレミアムカラー国語便覧　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小説・随筆では人物の詳細な心情（心情の変化）を読み取ることと、表現できることを心がけていきましょう。
・評論文では論理的なものの考え方を学び、幅広い教養を養えるようにしましょう。
・各作品で、「読む能力」「書く能力」「話す・聞く能力」を身につけていきましょう。
・提出物、漢字小テストなどはその都度時間を掛けて準備しよう。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語に対する関心を持ち、「読む」「書く」「話す、聞く」「知識、理解」の向上を図ろうとしている。	文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえることができる。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などを理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察（学習活動への参加姿勢や態度） ・記述の確認（ノート，プリント，ワークシート）	・行動の観察（学習活動における発言内容や態度） ・記述の確認（ノート，プリント，ワークシート） ・定期考査	・行動の観察（学習活動における発言内容） ・記述の確認（ノート，プリント，ワークシート） ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	d	e		
1学期	評論	「身銭」を切るコミュニケーション	○	◎	○	a:論の進め方や筆者の主張を的確に捉えようとしている。 d:日常的な問題を扱った評論を読み、その表現や論考の手法を理解し、自己の考えを深めている。 e:使われている語彙を正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査
	小説	みどりの指 山月記	○	◎	○	a:人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているのかを捉えようとしている。 d:物事の様子や場面などを読み取り考察することができている。 e:文章の形態や表現の特色について理解している。	a:行動の観察 d、e:記述の確認、(ノート、プリント) 及び、定期考査
	詩	永訣の朝	○	◎	○	a:詩の世界を積極的に学ぼうとしている。 d:表現や展開を的確に読み取っている。 e:詩の世界を味わって人間や社会についての認識を深めている。	a:行動の観察 d,e:記述の確認(ノートプリント)、定期考査
2学期	評論	ミロのヴィーナス 分からないからおもしろい	○	◎	○	a:どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取る。 d:人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりの考察ができている。 e:評論における抽象的な部分の意味を的確に理解している。	a:行動の観察 d,e:記述の確認(ノート、プリント)、定期考査
	小説	こころ 山椒魚	○	◎	○	a:小説の主題を理解しようとしている。 d:表現や展開を的確に読み取っている。 e:小説世界を味わって人間や社会についての認識を深めている。	a:行動の観察 d、e: 記述の確認。(ノート、プリント)及び、定期考査

	言語活動	外国文学の影響を調べて	○			a:自分の意見を論理的に根拠を明確にして説明しようとする。	a:行動の観察
3学期	小説	真面目な二人	○	◎	○	a:人物・情景・心情について学ぼうとしている。 d:表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解している。 e:比喩表現などの表現技法を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査
	評論	豊かさと生物多様性 言葉は世界を切り分ける	○	◎	○	a:筆者の考えを的確に把握し、自分自身の問題として捉え、自分自身を見直そうとしている。 d:人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりの考察ができている。 e:語彙を正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:記述の確認（プリント） e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域に関わる観点には◎を付している。